

世界半導体製造装置統計 Worldwide SEMS Report

2026年第2四半期販売高は、前年同期比23%増の405億米ドル

東京 2026年9月4日 - 日本半導体製造装置協会が発表した2026年第2四半期(暦年)の世界半導体製造装置販売額は、前年同期比23%増の405億ドルでした。

前年同期比では、韓国が54%増、台湾が24%増と大幅に伸びたことにより、全体として23%の増加となりました。引き続き、AI向けの先端ロジックやHBM・DRAMが市場を牽引し、高水準の設備投資が続いています。

前四半期比では、韓国がほぼ横ばいでしたが、台湾が24%増と高い伸びを記録したことで、全体としては11%の増加となりました。中国は2023年2Q以来13四半期連続で世界最大の市場となっており、今回まで12四半期連続で100億ドルを超える販売額が続いています。

この統計はSEMIと協同で、世界80社以上の半導体製造装置メーカーから毎月提供されるデータを集計したものです。販売高ならびに前四半期比、前年同期比成長率は下表の通りです。

(販 売)

(単位: 10億米ドル)

期 地 域	2Q2026 4～6月	1Q2026 1～3月	2Q2025 4～6月	2Q26／1Q26 前四半期比	2Q26／2Q25 前年同期比
日本	2.44	2.16	2.68	13%	-9%
北米	3.50	3.28	2.76	7%	27%
欧州	1.23	0.95	0.72	30%	70%
韓国	9.08	8.93	5.91	2%	54%
台湾	10.89	8.77	8.77	24%	24%
中国	11.91	10.99	11.36	8%	5%
その他	1.47	1.48	0.87	-1%	69%
合 計	40.53	36.55	33.07	11%	23%

★出所 SEAJ (日本), SEMI(北米、欧州、その他)・SEMIジャパン

★四捨五入したため、合計は地域値の合計と一致しない場合があります。

お問い合わせ先：

事務局 事務局長 兼 広報部長 小林 章秀(こばやし あきひで)

Web <https://www.seaj.or.jp> E-mail akobayashi@seaj.or.jp

TEL 03-3261-8261